



発行元 紀南教会瓦版  
 紀南教会瓦版  
 和歌山県田辺市  
 下屋敷町80  
 TEL/FAX  
 0739-25-1191  
 050-3391-6533

二〇〇九年最初の瓦版をお届け出来ますことを感謝します。チューリップが寒さを堪え、硬い土を突き破り芽を出してきました。花が咲くまでマダマダ試練の日々を乗り越えます。私達も主を仰ぎ見つつ、共に支え合いましょ。編集員一同

## 名古屋にて

夫の初めての転勤で名古屋にきたのが、ちょうど五年八月月前での事。何の心配もなく、新しい土地に移されることをむしろ大いに喜んだ。忙しすぎる神奈川の生活から少し解放された。たいと思っていたからだ。

名古屋の生活はとて落ち着いたスタートだった。会社や学校に近い住居が与えられ教会も車で五分の所が備えられた。家族の起床は朝七時。毎日家族そろっての朝食。八時になると家族はそれぞれ神奈川の十六年の生活とは全く違っていた。昼時になると、夫が昼食をとりに家に帰ってくる。久しぶりの夫婦のゆつくりした時間が与えられた。互いに相手の話に耳を傾け、色々と話すようになった。そして夜八時頃には再び家族が集

い、みんなでよく「お茶会」をした。日曜の礼拝も家族一緒に招かれ。同じ御言葉を聴く恵みに預かり、その御言葉に励まされ力をいただいた。名古屋の生活が四年過ぎた時、夫の転勤がきまり、滋賀へ単身赴任することになった。週末には毎週帰ってくるが、平日は一人の時間が多くなった。子供達もそれぞれに忙しくしているが、それにも慣れた。いよいよ来年夫のいる滋賀へ移り住むことを予定している。名古屋での生活もあと一年を残すところとなった。忙しかった神奈川から休息の名古屋へ、そして又、次の地へ。しかしどこにいても神様の御手の中にあるから平安だ。どこでも神様からの助けが備えられていて、必要なものを与えられてきた。本当に感謝だと思っている。名古屋での残された一年、今年も神様を見上げて喜んで歩ませて頂こう。

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

## 聖書とは御言葉

最近、よく聖書を読むようになった。という、じゃあ今までどうだったんだと言われそうなのが、今までも読んでいたが、持ち前の鈍い感性のせい、どうも身に迫って感

「恐れを感じる時は、恐れの中にもイエスがいる」という言葉を胸に恐ろしく入っていくことが出来た。

「恐れを感じる時は、恐れの中にもイエスがいる」という言葉を胸に恐ろしく入っていくことが出来た。

「恐れを感じる時は、恐れの中にもイエスがいる」という言葉を胸に恐ろしく入っていくことが出来た。

「恐れを感じる時は、恐れの中にもイエスがいる」という言葉を胸に恐ろしく入っていくことが出来た。

## アブラハムとサラのよび

紀南教会牧師 上山耕司

私たちが夫婦は結婚して半年後に、大阪から和歌山に来て、この三月で満二九年になります。ギリシア語の織田昭先生が結婚式の披露宴の席で、「アブラハムとサラのよび」との祝辞を下されたのを今思い出します。あれから三十年、人生の半分を田辺で過ごすことになってしまいました。

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ



「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ

「主はアブラムに言わ



紀南教会の兄弟姉妹勢揃い